

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ピピ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 7日		～ 2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 25日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	良質な木のおもちゃや一人ひとりに合わせた自立課題をたくさん使った療育で、子どもたちの「できる」「わかる」がたくさん用意できている。	・たくさんのおもちゃを自分で選んで→遊んで→片付けることができる環境を用意し、子どもたちが自然な形で自立した活動ができるようにしている。 ・自立課題の記録を取り、その子の興味関心に合わせたないようで力が発揮できるような課題を用意している。	今の「できる」「わかる」を積み重ねることで、少しずつできることやわかることが広がる様子を、保護者さんと一緒に喜び合えるようにする。
2	スタッフがチームで、子ども理解を深めることができている。	常勤スタッフが主なチーム構成なので、朝のミーティングへのほぼ全員の参加ができおり、前日の様子の振り返りから問題に対する対応策などがすぐに実行できている。ミーティングでその子の様子や状況、興味関心が何にあるか、次へのステップなどが共有できている。	子ども理解をさらに深め、ひとりひとりがのびのびと力を発揮できるように、環境を整えていく。
3	場所の構造化とスケジュールにより、子どもたちが自分でわかって移動し、活動に取り組んでいる。	部屋ごとに「あそぶ(1階)(2階)」「ペンきょう・おしごと」「おやつ」「やすむ(1階)(2階)」の要素を持たせ、各部屋も子どもたちが選んで取り組めるように構造化している。	それぞれの部屋で、さらに使いやすくしていくための再構造化を必要に応じて取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や障害がない子どもと活動する機会 ・地域交流の機会	積極的な交流の場は、保護者様から『交流を望んでいない』という声もあり、していない。が、お仕事ポイントがたまった時の近所のお店での買い物や外出などが交流の場になればと考えている。	事業所の中だけではなく、公園での外遊びやポイントを使ったお買い物や外出などで地域交流をしていることをお知らせしていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携を支援する	働く親御さんが多いこともあり、保護者会などは求められていない現状がある。	姉妹事業所のピピ2が、年1回程度のスタッフと保護者との合同研修会を行っているので、それにピピも参加していくことを検討したい。
3	避難訓練の周知	年2回の避難訓練を行っているが、たまたま訓練の日のご利用でない方への報告ができていない。	お便りやフェイスブックなどで報告や周知ができるようにしていきたいと思う。